

# スキーすく〜る①

12月23日(金) ~ 12月27日(火)

IN 長野県白馬村飯森地区、民宿「山万旅館」

	午前	午後	夜
1日目			白馬に向けて出発
2日目	白馬到着・スキー講習①	スキー講習②	クリスマス会、振り返り
3日目	スキー講習③	スキー講習④	お楽しみ会、振り返り
4日目	スキー講習⑤	スキー講習⑥	振り返り・関西に向けて出発
5日目	関西到着・解散		

一日目： 一気に寒さが増し、冬も本番になってきたようですが、そんな寒さに負けず、元気に集まりました！！スキーは他のキャンプと異なっており、夜集合です。バスに乗り込むと自然と眠気がやってきて、気が付けば皆、熟睡されていました。起きたら白銀の世界が待っています。おやすみなさい。

二日目： バスの車内灯がつき、起きるとそこは白銀の世界でした。気温は氷点下で、関西とは比べ物にならないほどの寒さですが、皆の気持ちはスキーを楽しむこといっぱいです。朝食を済ませ、スキーの格好に着替えると早速ゲレンデに出発しました。昨晚から降り続いた雪の影響で、ゲレンデの圧雪が間に合わず、ふかふかのパウダースノーなゲレンデです。降雪も多く、大人であれば早々に切り上げそうなところですが、メンバー全員がその状況でも真剣に、楽しんでおられました。今日はシーズン始まりなので、肩慣らし程度の滑りで終わらせておこうと思っていましたが、気が付けばどのクラスも熱が入り、しっかりと教わっていました。昼食を挟み、午後からは天候も穏やかになり、滑りやすいコンディションとなりましたので、楽しそうに滑っておられました。あっという間に講習の時間は終わりました。旅館に戻ると、片付けや入浴など出来ることを行いました。今日はクリスマスイブです。夕食後は皆で、クリスマスパーティーを開きました。美味しいケーキにジュース、持ち寄ったプレゼント交換会と楽しい一時を過ごしました。最後に各クラスに分かれて、一日の振り返りを行いました。翌日に繋げる為の大切な時間なので、気持ちを切り替え、友達の動きや自身の動き、課題について意見を交換しました。明日から本格的に講習が始まります。楽しむことも忘れずに、技術を身に付けていただきたいです。

三日目： 昨日より天候も落ち着いており、気持ちの良い朝を迎えました。今回全員がキャンプリピーターという事もあり、起床、朝食、準備とスムーズに進めることが出来ました。ゲレンデに向かうと、昨日よりもゲレンデの雪質は良く、レベルの高い講習が出来そうです。新しいクラス分けを行い、早速スタートです。めだかクラスはリフトに乗る為に転けずに滑り降りる練習をしました。昨日に比べ、滑りに臆することなく真っ直ぐ滑り降りる事が出来ていました。さんまクラスはコントロールを意識して滑りました。【滑る、止まる、曲がる】を自在に、スピードを落とさず、流れるように様々なコースを滑りました。イルカクラスは山頂へ向かい、多種多様なコースを滑りました。またバランスを意識した片足滑りを行いました。昼食を挟み、午後から天候が崩れてきましたが、それでもメンバーの気持ちは落ちることなく、より高いゲレンデで講習をしました。午後の最後に全てのクラスがリフトに乗ることが出来、集合写真を撮りました。明日は最終日ですが、どのクラスもリフトやゴンドラに乗り、高度な研修に励みます。夜は布団に入ると、すぐに寝息が聞こえてきました。



四日目： 昨晩に各クラスで振り返りをし、そこで各々定めた目標に向かって、講習を行いました。めだかクラスは昨日リフトに乗ることが出来たので、朝一よりリフトに乗り、ゲレンデを何度も滑りました。何度も回数を重ねると、体も慣れてくるので、曲がる練習も行いました。成長の準備は整いましたので、次々と技術を吸収されていました。さんまクラスは全クラスの中で一番在籍幅が広く、沢山の技術を学ばなければいけません。また、技術だけではなく、スキーに対する想いや心意気など、心技体を整えるクラスでもあります。それらが揃った時、晴れて【イルカクラス】へと昇格します。さんまクラスは技術向上が目に見えて分かります。難しいコースを転げずに降りきると自信がつきます。教えられた技が出来ると成長に勢いがつきます。ただ同時に調子にも乗ってしまう傾向があり、そうした出鼻を何度も挫き、クラスとして、人としての成長を促します。そして、そうした長い経験をして、ついにイルカクラスへとなれます。イルカクラスの滑りには【心のゆとり】があり、スキーの本質の楽しさを理解し、楽しまれています。ゆえにどんな難しいコースに挑戦しても、笑顔が絶えず、存分に楽しまれています。下から見ると壁のような最上級コースに挑戦され、何度も転げた感想や、上手く滑る事が出来た感想を仰っていました。こうして、シーズン始まりのスキー講習は無事に終え、メンバーは疲れきっていましたが、大満足の表情でした。白馬最終日は、おまぢかねお土産購入タイムです。何度も来られている方は家族から要望されているものを買われていました。初めての方は、沢山の商品を前に何を購入しようか迷われていました。各々納得の商品を購入され、民宿に戻りました。夕飯を済ませ、最後の振り返りをしました。この内容が次に繋がるので、是非とも覚えておき、次回に実行していただきたいです。民宿出発まで少し時間があるので、最後の時間をグループごとに有意義に過ごされていました。そしてついに白馬を出発する時間がやってきました。今回沢山お世話になった山万旅館に感謝を伝え、白馬をあとにしました。帰りの車内を消灯すると、すぐに寝息が聞こえてきました。三日間のスキー講習、本当にお疲れ様でした。



### <キャンプ総括>

今回ご参加いただきましたメンバーは皆、これまでに何かしらの活動にご参加いただいておりますが、白馬でのスキーキャンプに初参加の方が多く、従来のキャンプと異なっているところに困惑しつつ、楽しんでいる様子が伺えました。ゆえに上のクラスに対しての憧れが強く、尊敬の眼差しで見られていました。「なりたい。」「やってみたい。」という気持ちは上達に必要な不可欠であり、これからの新しいスキーメンバーとしての成長を大いに期待しております。上級クラスの方々は一つずつ課題を乗り越えて叩き上げられてきました。出来ない時の葛藤や出来た時の喜びを経験されてきたからこそ、発する言葉に確かさと重み、説得力があります。これからを担うスキーメンバーは、彼らの言葉に耳を傾け、頷いておられました。メンバーがメンバーに憧れ、成長を促し合う素敵な関係性と感じました。スキーは春にも行います。是非とも引き続きご参加いただき、更なる成長へと繋げていただきたいです。 (竹中 哲郎)